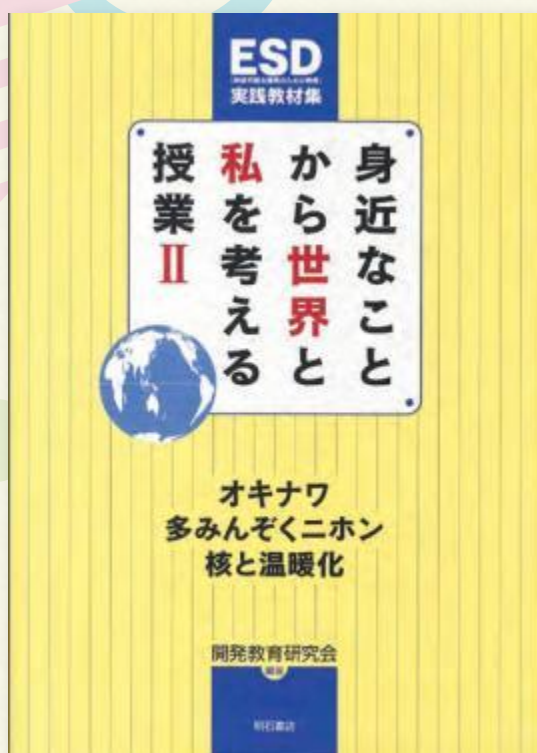


## 平和教育プログラム内容

以下のプログラムの基本形を持ちながら、対象者の年齢、授業の前後のねらいや目指したい方向性を大事にしながら、学校の要望に寄り添う形式です。また、県外においては、沖縄を知ってもらうためのクイズも併せて取り入れました。以下の2冊の教材を主に活用しました。  
※教材について、詳しくは15ページ参照



### 世界の難民問題から 沖縄戦までの学び

#### ねらい:

世界の難民問題を導入して学ぶ。シミュレーション体験を通して、沖縄戦当時の戦争避難民として住む場所を追われることを経験します。戦争での経験や出来事、つながれた命の意味を考えます。

#### 手法:

フォトランゲージ、シミュレーション体験、歌や体験記の朗読などを通して、自分がどんな未来を描いていけるのか話し合い、全体共有を行いました。

対象者: 小学校4年生~大人

時間: 90~120分



### 世界のウチナンチュと平和 沖縄移民の学び ~ハワイから豚がやってきた~

#### ねらい:

沖縄移民・世界のウチナンチュが海外に多く存在する沖縄の歴史があります。沖縄戦前後に、海外に渡ったウチナンチュたちが、沖縄戦で様々なものを失った沖縄を救おうと救援物資を送る活動を学ぶ。また併せて、戦後復興の様子を学びます。

#### 手法:

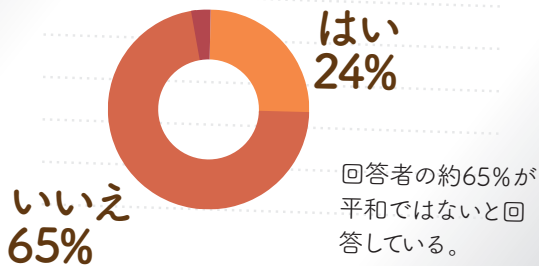
フォトランゲージ、映像視聴、体験記の朗読、グループでの話し合い、発表を行いました。

対象者: 小学校低学年~大人

時間: 50~120分

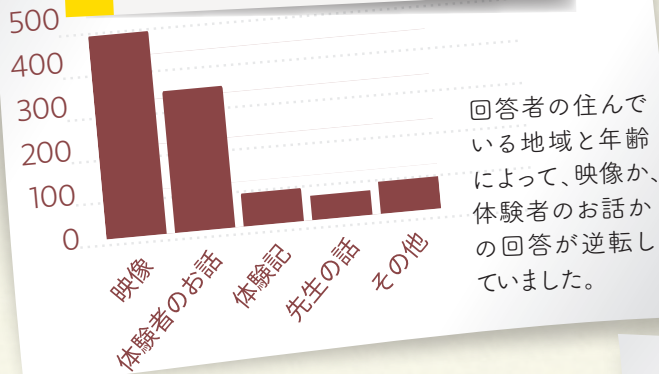
# “数字”と“考え”に見る 平和教育の意味

## 1. 世界は平和だと思いませんか？

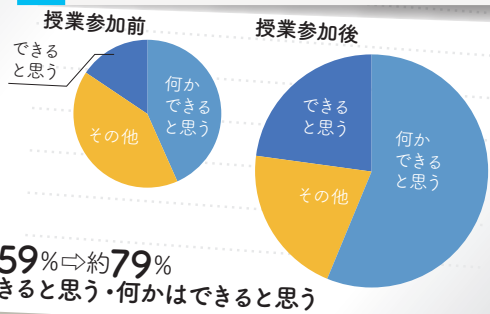


実施学校数 **10校**  
 受講者数 **1,072人**  
**数字 99%**  
 平和教育授業後の意識調査。  
 “平和への理解”が深まったかどうか

## 3. 戦争や平和を学ぶことで、印象に残っているものは何ですか？



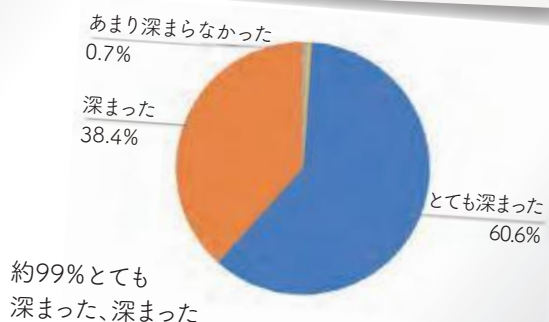
## 2. あなたは世界を変えることができると思いますか？



### 実施者のコメント：

回答者の多くが、世界の情勢を感じながら平和に関して不安を抱いています。併せて、学びの意義を感じながら、無力感を乗り越える手段としての平和教育の重要性をそれぞれが導き出していると感じました。

## 4. 授業後、平和への理解が深まりましたか？



戦争はやってはいけないことだ  
と思っていたけど、これほど恐ろ  
しくて悲しい出来事だったんだ  
と今まで以上に実感した。やは  
り、実際に体験した人の話など  
は迫力が違ってそれらを広めて  
いくことには大切な意味がある  
んだと感じた。  
(調布北高校生)

普段自分から感想を共有というの  
は恥ずかしくて出来なかったが、  
戦争について、平和について考え  
ると、自分の恵まれた環境がとんで  
もない奇跡の上に成り立っている  
のだと知り、恥ずかしがって口籠も  
っている場合でないと思えた。  
(真和志高校生)

世界中を平和  
にしてみたい  
(上牧小学校生)

授業後

# 平和への

今回のように、実際に体験し  
て、話を聞き、沢山考え、意見  
交流をする。正直今までで沖  
縄戦のことは全然知らなくて、  
今回は初めて沢山知ったの  
で、日本人としてちゃんとあっ  
た出来事が知れました。  
(同志社中学校生)

私たちは戦争を体験してい  
ないから、戦争の怖さを語り  
継ぐのは無責任だと思う。だ  
から、戦争を二度と起こさな  
いように日々お互いわかりあ  
うことができる。  
(同志社中学校生)

沖縄の「慰霊の日」番組を見て泣  
きそうになりました。もし自分の家族  
が死んでしまったら、苦しむこと  
になってしまったらと思うと、本当  
に涙が出そうです。戦争中の苦しみ  
に加えて、戦後悲しみもあること  
を今回学ぶことが出来ました。世界  
を大きく変えることは難しいですが、  
世界を変えるためにできることが  
見つかったら、進んでやりたいと  
思います。  
(調布北高校生)

「偉い人達がこんな風と言っ  
てるからこうしなきゃ」や「周りに合  
わせなきゃ」ということは波風立  
てずに生きる一つの方法だと思  
うけれど、自分の意思や考えを  
持ち、貫くということが戦争とい  
うような悲惨なものを起こさない  
ための方法だと感じました。間  
違っていることにはおかしいと  
言える勇気を身につけていき  
たいと思いました。  
(名桜大学生)

道枝さんは、私もABCジャパ  
ンに行った時に話を聞いた。  
親が移住して、ブラジルでの  
生活と日本に来てからの経験  
からいろんな違いがあること  
を知った。曲の歌詞も強い意  
味があった。戦争の経験者や  
移民の経験をした人の話はと  
てもためになる。  
(関東学院大学生)

私の娘、祖父の兄弟は、ブラジルへ  
の移住を経験しており、子どもの時  
に一時帰国した際に会ったことがあ  
り、祖父から戦争のことも聞いてい  
ます。あの頃わからなかった、ブラ  
ジルへの移住の苦しさ、聞いていて思  
い出したこと、祖父らの思い出で泣  
きたくなりました。もう皆亡くなって  
しまって、もっと聞いておけばよかつた  
ことや、単純に会いたいなあと。今、  
話してくださる人たちの声をたくさん  
残しておいてほしいと思います。  
(関東学院大学教員)

実際に何を持って誰と一緒に逃げるか、どこへ逃げるかというシュミレーションを通して感情移入しやすくなり、真剣に捉えることができたと思います。また、他の人の考えや当時の人の考えも同時に知ることで、平和を創ることが個人一人の考えや力では実現し得ない、皆で創っていくものだという意識が生まれたのではないかと思います。  
(県内高校教員)

戦前や戦後直後の沖縄では、多くの人間の命も失いましたが、動物の命も併せて失った。お金を稼ぐために海外に出稼ぎに行った方々が平和についてどのようなことを行動してきたのかを通して、今の平和について考えさせたい。  
(県内中学校教員)

みんな、強く生きて。生きていてくれてありがとう。戦争のことはまだよくわからない。でも、生きることは本当に大切にすることはわかった。  
(忍海小学校生)

# うむい<sup>(思い)</sup>

児童生徒・  
学生さん・  
先生

沖縄県と移民についてさまざまな事を学べました。例えば、沖縄移民は120年前から始まって、10人に一人が移民してたということなどです。他にも、ハワイの人は、一応敵国でもある沖縄に物資や豚などを届け、思いやりの心がすごく伝わって行きました。  
(東中学校生)

今まで沖縄戦についてたくさん学んできたけど、ハワイと沖縄に関わりがあったのは初めて知ったのもっと詳しく学びたいと思った。またそれを理解したうえでもう一回沖縄の歴史について知りたいと思いました。  
(糸満中学校生)

クラス全体で平和や戦争のことを考えてそれぞれの意見を出し合っ  
て話し合うことが出来るというのが  
とても貴重な時間だと思いました。  
終戦から75年以上も経って、当時  
の戦争を体験した人が少なくなっ  
ていく中、若い世代である自分達  
がいに平和の尊さと戦争をする  
ことの悲惨さや愚かさを未来へと  
伝えていくのが大切になってくる  
かを再認識出来ました。  
(真和志高校生)

沖縄県出身であるが、沖縄戦につ  
いて勉強していても知らないことは  
沢山あるのだと気付かされた。また、  
当時を生きた人たちは何を信じる  
か、どのように行動するかなど難し  
い環境の中下した判断は人それぞ  
れで悲しいものも多いけど、戦後に  
生きる人に命の大切さを伝えられる  
バトンになったと感じた。  
(名桜大学生)

知りたいことは  
だれがどうしたら、  
平和になるか  
(上牧小学校生)

## 写真で振り返る



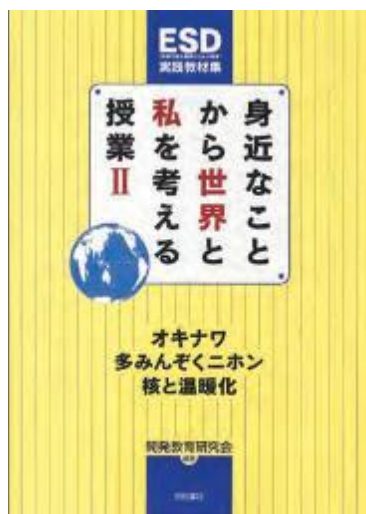
### 📷 各列左写真からの説明

- 1列 / 関西での出前イベント
  - ・関東学院大学出前授業
  - ・糸満中学校出前授業
- 2列 / ちむどんピースin読谷イベント参加者の様子
- 3列 / ちむどんピースin読谷イベント高校生ファシリテーター
- 4列 / 神奈川県川崎市子どものフリースペース えんワークショップ
  - ・ちむどんピースin関西セミナーハウス
  - 大城さんによる琉球ヴァイオリン演奏

## 「沖縄のこころ」を伝える教材

# 平和教育の時間に主に使用した教材

沖縄にとっての「平和教育」教材というと「沖縄戦」を起点とした内容が多くなってしまったり、教える時期も6月23日前後に限定的集中していることは、学校現場の教員の皆さまから課題として挙げられていました。また、主体的に考え行動するための学び、SDGs・持続可能な未来への学びを模索したいと願う声を踏まえて、今回は以下の3つの教材を基本として、地域の新聞記事や読谷村の発行した書籍等も活用しました。併せて、読谷村出身の歌手、玉城千春さんが中学生と共に平和教育を通じて制作した歌「Hope Dream Future」やプロモーション映像(下記参照)も、ワークショップの教材として玉城千春さんのご協力により活用いたしました。



開発教育教材「沖縄から考える平和」(身近なことから世界と私を考える授業II/明石書店)

本教材を作成する際、当事者でない私たちが沖縄戦を教材化することの意味について何度も話し合い、沖縄に足を運び、資料収集に努め、実際に授業をして検討を重ねてきました。これからも当事者や実践者の声に耳を傾けていきたいと願っています。



沖縄移民・世界のウチナーンチュ教材「レッツスタディー！世界のウチナーンチュ」(沖縄県発行)

教材のなかの、ハワイ移民と豚の物語を用いました。戦前・戦後と沖縄からの移民者がなぜ海外に移民しなければならなかったのか、沖縄戦前後の沖縄や戦後復興の歴史を学ぶ教材として活用しました。



読谷村史編集室編「読谷村の戦跡めぐり」(読谷村発行)

読谷村における米軍上陸の史実、チビチリガマ、シムクガマの解説として活用しました。また、読谷村内、戦跡フィールドワーク(50ページ以降ご参照)におきまして、読谷村史編集室職員(中田耕平さん)の解説と共に、本書籍を中心にめぐりました。

## Hope Dream Future

### 【歌詞】

未来を選ぶ権利がある だけど まだ 子ども  
もて無力だ それでも あきらめたくないんだ

ある人はいう 死を選んでも そのギリギリまで  
彼らなりの希望があった 強い意志だと

追い詰められたとしても 何か 変わることを  
祈って 消えてった命

平和願って 生きていたくて

作詞:玉城千春、沖縄アミークスインターナショナル中学校5期生  
作曲:玉城千春

未来を選ぶ権利がある だけど まだ 子ども  
もて無力だ それでも あきらめたくないんだ

この地球は 優しく強く 大きな愛で 語り  
かけるんだ 未来を築かなきゃ 手を取り合って

言葉なんて伝わらなくとも 心でつながれると  
信じているんだ

希望と夢いだいて みんなの笑顔で

「Hope Dream Future」プロモーション映像  
[https://www.youtube.com/watch?v=54bik61C\\_78](https://www.youtube.com/watch?v=54bik61C_78)  
この映像も授業の中で活用させて頂きました。  
ぜひ、ご覧ください。



僕らは あきらめない 自分をあきらめない 同  
じ空の下 見上げればつながれるよ LOVE  
LOVE LOVE  
……続く

